

学習項目の要素の記述方法

(1) 作業手順

- 選択した「生活上の行為」の事例に、以下の例のように「能力記述」「場面（場所、相手、状況）」「やりとりの例」「文法」「機能」「語彙」及び「四技能（話す、聞く、読む、書く）」の7つの要素を記述する。

(例)

	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	語彙	四技能			
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
0801 対面販売で購入する												
0801250 ★ 支払う	支払いを することが できる	店 デパート スーパー マーケット	店員	代金・料 金を支払う	A 1 : すみません、いくら ですか。 B 1 : 1,800円です。 A 1 : はい。[10,000円を渡す。] B 1 : じゃ、8,200円のおつり です。どうもありがと うございました。	・終助詞 か(疑問) ・名詞+です	注目要求 情報要求 情報提示 儀礼(感謝)	いくら おつり	○	○		

(2) 作業スケジュール

- これまでに、別添のとおり、「生活上の行為」の小分類08「物品購入・サービスを利用する」及び31「人と付き合う」（上位項目3101「あいさつをする」）のうち星印が付されている事例について、学習項目の要素を記述する作業を行った。
- 今後、引き続き、基本的な生活基盤を形成するために、来日間もない外国人にとって不可欠であると考えられる「生活上の行為」（資料3-5で●印を付したもの）を中心に、その事例について、学習項目の要素を記述する作業を行う。

■ 小分類08 「物品購入・サービスを利用する」

(凡例)

- ★： 基本的な生活基盤の形成に不可欠であり、かつ複雑なコミュニケーションを必要とせず、外国人が主体的に動くことが必要とされる「生活上の行為」の事例、又は安全にかかわる(緊急性がある)「生活上の行為」の事例のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
- ☆： 「★」と同旨の事例のうち、「理解すること」が求められる「生活上の行為」の事例に該当すると考えられるものを示す。

0801030 目的によって店舗の種類を使い分けを知る

- 店舗には様々な種類がありますので、目的によって賢く使い分けをしましょう。すぐに必要なものは近所の八百屋、肉屋、パン屋、果物屋、薬屋、電器屋、花屋などの小売店で買うとよいでしょう。町の商店街には食料品のほか、靴、衣類、家具など種類別にいろいろな店があります。店の人と仲良くなって、会話を楽しむこともできます。時には定価より、まけてくれることもあるでしょう。
- コンビニエンスストアは、年中無休で長時間開いている小型の店舗です。飲み物やサンドイッチ、おにぎり、お弁当などの食品と日用品を中心に扱っています。「100円ショップ」と言って、日用品や加工食品、文具など原則として、商品1点につき、100円(税抜き)均一で販売している店もあります。
- 肉、魚、野菜などの生鮮食品は、スーパーマーケットやデパートの地下で大量に扱っています。地域によっては、「市場」で買うこともできます。そこでは、いろいろな種類の中から選び、新鮮なものを比較的安く買うことができます。スーパーマーケットにはそのほか、日用品、衣料、家電、酒類などいろいろなものを大量に扱っていますので、比較的安く買うことができます。
- デパートでもいろいろな商品を大量に扱っていますが、ブランド物やメーカー品など高級商品も扱っています。通常は、安くありませんが、バーゲンセールの際には安く販売しています。テレビ、カメラ、パソコン、冷蔵庫などの家庭用電気製品を専門に大量に扱っている店舗もあります。デザイン、型、価格など希望に合わせて手に入れることができます。「ドラッグストア」では薬、化粧品、日用品を中心に、販売しています。最近では食品などを扱う店も出てきました。
- 郊外には大規模ショッピングセンターが進出し、商品を大量に扱い、安く販売しています。広い駐車場を完備していますので、車で行って、大量に安く、買い物するには便利です。また、流行遅れや半端もののメーカー品や高級ブランド品を安く販売しているアウトレットモールも出てきています。

0803010 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する

- 小分類08「物品購入・サービスを利用する」のうち、「0801 対面販売で購入する」は、基本的にお金を代価として払い、具体的な品物を買うという行為であり、また「0802 飲食店を利用する」は代価を払って食べ物を作ってもらう食事する行為である。これに対して、「0803 各種サービスを利用する」は、具体的な品物や食べ物を買うのではなく、代価を払って色々なサービスを受ける行為である。生活上必要だけれども自分ではできない様々なことを、専門的な技術を持った人や設備を備えた店に頼んでしてもらって必要を満たす行為であり、いわば「サービスを買う」消費活動である。
- これらのサービスには、大きく分けると2種類ある。一つは、そのサービス自体を専門とする人や店から受けるサービスで、例えば、クリーニング、理髪(パーマ、散髪)、銭湯、コインランドリー、CDやビデオのレンタル、宅配便、写真の撮影や現像・焼付、自転車や時計の修理などである。もう一つは、品物を購入した時に追加的に受けるサービスで、例えば、買った品物の配送、寿司やソバの出前、贈答品の特別な包装、冷蔵庫やテレビの据え付けや配線、買った魚を刺身にしてもらい、買ったコーヒー豆をひいてもらうなどのサービスである。
- これらのサービスは、多くの場合、有料である。前項の2種類のうち、クリーニングなど専門的な技術や道具を必要とする前者のグループはもちろんだが、物品購入に伴う後者のサービスも多くの場合は代価が必要である。その一方で、魚を刺身にする、コーヒー豆をひくなど比較的軽い内容の追加サービスは無料の場合もある。ただし、有料か無料かは、店やサービスの質・量によって変わるため、その都度注意して、あらかじめ店員に確かめることが必要である。
- 生活する地域社会の中で、どのようなサービスが、どんな店や場所で、どんな人から受けられるのかということは、国や地域社会によって異なる。母国と日本の違い、日本の中でも大都市とそうでない地域との違いなどがあることを前提として、実際に暮らす地域社会で必要なサービスを受けるための情報を得ることが大切である。近隣の知人に聞いたり、自治体や商店会から情報を得たりする工夫が必要である。
- 近年の日本国内では、インターネットを活用した消費活動が定着している。この中には、具体的な品物を注文し購入し決済するという購買活動そのものではなく、様々なサービスを受けることも含まれている。例えば、購入したい商品について製造元へ尋ねて情報を得る、鉄道会社のサイトで交通経路、運行状況、空席情報を調べる、パソコンや電化製品の使用方法などマニュアル情報をインターネットを通じて得るなどは、大分類10「情報を収集・発信する」という行為を通じたサービスの受け方と言える。

08 物品購入・サービスを利用する		能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい言葉	四技能					
			場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く		
0801	対面販売で購入する														
	0801020	★	必要な品物を扱う店等を探す	知人や友人に店の場所を聞くことができる 知人や友人にどんな店か聞くことができる 電話帳で店を特定することができる 新聞の広告を理解することができる	家庭 職場 学校	家族 友人 知人 同僚 販売員 見知らぬ人	情報を得る	A 1 : ○○はどこで売っていますか。 B 1 : ○○は△△で売っています。 A 2 : ○○はどんな店で売っていますか。 B 2 : ○○は△△で売っています。	終助詞 か(疑問) 指示詞 (疑問) (場所) (種類) 格助詞 で(場所) 動詞テ形+いる	情報要求 情報提示	[商品名] どこ どんな 売る	○	○	○	
	0801030	☆	目的によって店舗の種類を使い分けを知る												
	0801040	★	販売しているところを探す	販売しているところを聞くことができる 店の名前や店の種類が分かる	家庭 職場 学校	家族 友人 知人 同僚 販売員 見知らぬ人	情報を得る	A 1 : ○○はどこで売っていますか。 B 1 : ○○は△△で売っています。 A 2 : ○○はどんな店で売っていますか。 B 2 : ○○は△△で売っています。 A 3 : ○○の店はどこにありますか。 B 3 : ○○は△△で売っています。	終助詞 か(疑問) 指示詞 どんな(疑問) (種類) 指示詞 どこ(疑問) (場所) 格助詞 で(場所) 動詞テ形+いる ある(存在)マス形 格助詞 に(場所) 動詞マス形+ます	情報要求 情報提示	[商品名] どこ 売る ある	○	○		
	0801050	★	デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする	買いたい物を買うことができる	店	販売員	買い物をする	B 1 : いらっしゃいませ。 A 1 : これ、ください。 B 1 : はい。 B 2 : いらっしゃいませ。 A 2 : これ、ください。 B 2 : かしこまりました。	指示詞 これ(眼前指示) 授受動詞 くださる はい(返答)	関係づくり・儀礼 単独行為要求(依頼) 承認の注目表示	いらっしゃいませ これ ください はい かしこまりました	○	○		

O8 物品購入・サービスを利用する		能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい言葉	四技能				
			場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く	
0801060	★	店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す	買いたい物がどこにあるか聞くことができる 商品名を言うことができる	店	販売員	買い物をする	A1: ○○ (コーヒー、薬) はどこにありますか。 B1: あらにありません。 A2: ○○ (コーヒー、薬) はどこにありますか。 B2: 2階にあります。	指示詞 どこ (疑問) (場所) 指示詞 あちら (方向) 格助詞 に (場所) ある (存在) 終助詞 か (疑問)	情報要求 情報提示	[商品名] [場所] (例: 2階) ある	○	○	○	
0801080	★	売り場を尋ねる	売り場がどこにあるか聞くことができる	店	販売員	買い物をする	A1: 食品売り場はどこですか。 B1: 地下です。 A2: 食品売り場はどこですか。 B2: 2階にあります。	指示詞 (疑問) (場所) 格助詞 に (場所) 動詞 ある (存在) 名詞 (指示詞) + です 取り立て助詞 は (提題)	情報要求 情報提示	食品売り場 [場所] (例: 2階) 地下 ある	○	○		
0801100	★	店員に商品について尋ねる	希望のサイズを伝えることができる 希望の量を伝えることができる 希望の大きさを伝えることができる 希望の形や特徴を伝えることができる	店	販売員	買い物をする	A1: ○○ (売っているかどうか) はありますか。 A2: 小さいの (異なるサイズ) はありますか。 A3: 安い (異なる値段) はありますか。 B1: すみません。扱っておりませんが。 B2: 今、切っております。	動詞 ある (存在) 形容詞 小さい (異なるサイズ) 形式名詞 の 動詞マス形 動詞子形+あります 取り立て助詞 は (提題) 終助詞 か (疑問)	情報要求 否定の注目表示	[形容詞、形状・性質] 扱う 切らす	○	○		
0801130	★	値段を知る	商品の値札を見て、値段を理解することができる 商品の値札を見て、税込みの値段かどうかを理解することができる	デパート スーパーマーケット		商品の値札を読む 値札と関連情報を読む	【説明: 買い物をするときには、商品の値段を確認しましょう。】 例1: 品名 タオルケット 価格 ¥4,000 例2: 品名 即席中華メン 328円 (税込価格)	連体修飾 とき 動詞マス形+ましょう 格助詞 を (対象) 名詞修飾 の		買い物 する とき 確認する 円 例 ¥ 品名 即席 商品 値段 タオルケット 中華メン 価格 税込				○
0801140	★	商品の機能や値段を尋ねる	商品の機能や値段を尋ねることができる 商品の値段を尋ねることができる	靴屋 デパート	店員	マラソン用にいい運動靴を買う	A1: マラソン用の運動靴はどれがいいですか。 B1: これはいかがですか。軽くていいですよ。 A1: 履きやすいですね。これはいくらですか。 B1: 9,000円です。 A1: じゃ、これをください。	連体修飾 ~用 (使用目的) 格助詞 が (総記) 形容詞子形 動詞マス形+形容詞やすい 格助詞 を (対象) 終助詞 か (疑問) 終助詞 よ (主張) 終助詞 ね (確認) 名詞、形容詞+です 取り立て助詞 は 名詞修飾 の	情報要求 単独行為要求 (動告) 意思表示 情報提供 単独行為要求 (依頼)	マラソン 用 運動靴 どれ いかが いくら 軽い 履く ~やすい これ じゃ いい	○	○		
0801150	★	商品の表示を読む	食品に書かれた材料、産地、賞味期限などを読み取ることができる	スーパーマーケット		みそ汁を買う 魚を買う	【説明: 食品には材料、賞味期限、産地などが書かれています。】 例1: 名称-即席みそ汁、原材料-米みそ わかめ 食塩 砂糖、賞味期限-2010.1.22 例2: ぶり-長崎 628円 (税込) 消費期限-2009.10.21 加工日-2009.10.19	格助詞 に (場所) 副助詞 など 格助詞 が (叙述) 動詞受身形 動詞子形+いる		食品 材料 賞味期限 消費期限 原材料 ぶり 名称 わかめ 加工 食塩 日 みそ汁 砂糖 即席 産地 米みそ 長崎				○
0801160	★	値段・税率を計算する	商品の消費税を確認することができる	デパート 洋服屋	店員	スーツを買う	A1: このスーツはいくらですか。 B1: こちらは39,900円です。 A1: 税込みですか。 B1: はい、5%の消費税が含まれています。	動詞受身形 動詞子形+いる 取り立て助詞 は はい (返答)	情報要求 情報提供	スーツ いくら 円 税込み % (パーセント) 消費税 含む こちら	○	○		
0801190	★	試着を申し出る	店員を呼ぶことができる 試着を申し出ることができる	デパート	店員	試着をする	A1: すみません。これを着てみてもいいですか。 B1: はい、御試着です。こちらどうぞ。	格助詞 を (対象) 動詞子形+みる 動詞子形+もいい 終助詞 か (疑問) 接頭辞 御 終助詞 ね (確認) 格助詞 で (場所)	注目要求 同意要求 単独行為要求 (動告)	すみません これ 着る はい 試着 こちら どうぞ	○	○		
0801200	★	色違いのものを頼む	好きな色の商品を選ぶことができる	デパート	店員	色違いの品物を要求する	A1: すみません。ほかの色はありますか。 B1: はい、紺とベージュがございます。 A1: じゃ、見せてください。	動詞子形+ください お+動詞マス形+します (謙譲語 I) 動詞丁寧形 ございます (ある、です)	情報要求 情報提示 単独行為要求 (依頼)	ほか 色 ある	○	○		

O8 物品購入・サービスを利用する				能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい言葉	四技能			
					場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
							B1: 今お持ちします。こちらでございます。	終動詞 か(疑問) 動詞テ形+ください	注目表示(承認) 情報提示	はい ページ こちら 今持つ 見せる すみません じゃ 紺					
0801210	★	サイズの変更を申し出る	自分に合うサイズの商品を選ぶことができる	デパート	店員	試着した商品が自分のサイズと合わない	B1: お客さま、いかがですか。 A1: ちよっと小さいです。もっと大きいサイズはありますか。 B1: はい。少々お待ちください。こちらは13号です。 A1: ちょうどいいです。	接頭辞 お(美化語) お+動詞マス形+ください(尊敬語) 名詞+です 終動詞 か(疑問) 取り立て動詞 は	情報要求 意志表示 情報要求 注目表示(同意) 単独行為要求(依頼) 情報提示 注目表示(感想)	客 いかが ちよっと 小さい 大きい 大きい ~号 サイズ ちょうど いい 少々 ある こちら 待つ さま と	○	○			
0801220	★	ポイントカードや割引券を利用する	ポイントカードや割引券の利用不可について質問することができる 必要に応じてポイントカードや割引券を使って買い物ができる	店 デパート スーパーマーケット	店員	買い物をする	A1: すみません、この割引券、使えますか。 B1: はい、御利用になれます。店員に渡してください。 A2: すみません、ポイントカードを持っているんですが。 B2: はい、ではハンコを押しますので。	動詞可能形 動詞マス形+ます 接頭辞 御 格動詞 に(目標) 動詞尊敬形 ご利用になる 動詞可能形 れる 接続動詞 ので	情報要求 注目表示(確認) 単独行為要求(依頼) 注目要求 情報要求 注目表示(確認) 単独行為要求(依頼)	割引券 利用 店員 ポイントカード ハンコ	○	○			
0801230	★	クレジットカードを利用する	クレジットカードの利用不可について質問することができる 必要に応じてクレジットカードを使って買い物ができる クレジットカードの利用方法についての質問に答えることができる	店 デパート	店員	買い物をする	A1: すみません、クレジットカードを使いたいです。 B1: はい、こちらのカードでしたらお使いになれます。 A1: では、〇〇カードをお願いします。 B1: お支払いは何回にいたしましょうか。 A1: 1回(2回・ボーナス一括払い)をお願いします。 B1: こちらにサインをお願いします。 B1: 暗証番号を押していただけませんか。 B1: こちらお客様のお控えです。ありがとうございます。	動詞マス形+形容詞 たい 接続動詞 たら、が 格動詞 で 動詞テ形+いただく 動詞可能形 接頭辞 お	注目要求 情報要求 注目表示(確認) 情報提示 単独行為要求(依頼) 情報要求 単独行為要求(依頼) 情報提供 儀礼(感謝)	クレジットカード 支払い ~払い ボーナス一括払い サイン 暗証番号 控え	○	○	○		
0801240	★	必要なものを選んで購入する	必要なものを選んで購入できる	店 デパート	店員	代金・料金を支払う	A1: すみません、そのカバンを見せてください。 B1: どれですか。 A1: その赤いカバンです。 B1: どうぞ。 A1: じゃ、これをください。	動詞テ形+ください 指示詞 形容詞+名詞(連体修飾) 終動詞 か(疑問)	注目要求 単独行為要求(依頼) 情報要求 情報提供 単独行為要求(依頼)	(商品の名前) 色	○	○			
0801250	★	支払う	支払いをすることができる	店 デパート スーパーマーケット	店員	代金・料金を支払う	A1: すみません、いくらですか。 B1: 1,800円です。 A1: はい。[10,000円札を渡す。] B1: じゃ、8,200円のおつりです。どうもありがとうございました。	終動詞 か(疑問) 名詞+です	注目要求 情報要求 情報提示 儀礼(感謝)	いくら おつり	○	○			
0801260	★	返品・交換をする	必要に応じて商品の返品・交換をすることができる	店 デパート	店員	返品・交換をする	A1: すみません、サイズが合わなかったので交換していただけますか。 B1: Lサイズに交換ですね。レシートをお持ちですか。 A1: はい。 B1: では、こちらLサイズになります。 A1: すみません。どうもありがとうございました。	動詞テ形+いただく(授受動詞) お+動詞マス形+です(尊敬語) 終動詞 か(疑問) 終動詞 ね(確認) 名詞+になる(「です」と同義)	注目要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(確認) 情報要求 注目表示(確認) 情報提示 儀礼(感謝)	サイズが合わない 色が気に入らない Sサイズ Mサイズ Lサイズ Lサイズ レシート (品物交換のルール)	○	○			
0801270	★	注文する	購入したいものを注文することができる 取り寄せに関する質問に答えることができる	店 デパート	店員	取り寄せの依頼をする	A1: すみません、これと同じで、28センチのありますか。 B1: 申し訳ありません。28センチのものは、お取り寄せになりますので。 A1: どれくらいかかりますか。 B1: 1週間ほどかかると思いますが。よろしいでしょうか。 A1: はい、ではお願いします。	形式名詞 の お+動詞マス形+になる(尊敬語) 副動詞 ぐらい ほど	注目要求 情報要求 儀礼(陳謝) 情報提示 注目表示(確認) 単独行為要求(依頼)	申し訳ありません 取り寄せ どれくらい かかる	○	○			
0802	飲食店を利用する														
0802020	★	店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる	飲食店	店員	注文する	A1: 「セット」って何ですか。 B1: お好きなケーキとお飲み物を合わせて500円というサービスです。 A2: この600円の「今日のランチ」は何ですか。 B2: 生妻焼きです。ここに書いてあるお飲物を100円で付けられます。	複合副動詞 という 接頭辞 お 格動詞 で 動詞テ形+ある 連体修飾 動詞可能形 られ	情報要求 情報提示	セット サービス 飲食物の名前 ランチ	○	○			
0802030	★	希望の食べ物を探る	食べたいものを示し、店のありかを問える 相手の示した店のありかが分かる	相手の日常的な居所	知り合い	飲食店を探す	A1: 〇〇を食べたいのですが、近くのいいお店を教えてください。 B1: あー、それなら△△がいいですよ。	動詞マス形+形容詞 たい 動詞テ形+ください 名詞修飾 の	意志表示 情報要求 談話表示	食べる です が	○	○			

O8 物品購入・サービスを利用する		能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい言葉	四技能			
			場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
0802040	★電話で予約する	一般の店で予約ができることを知る 一定の条件を示して予約の可否について 質問することができる 予約の可否についての情報を理解するこ とができる	(手段：電話) 店員 (手段：電話) 店員 (手段：電話) 店員	飲食店利用の予定がある 飲食店利用の予定がある 飲食店利用の予定がある	B1：〇〇寿司でございます。 A1：あ、予約、お願いしたいんですけど。 B1：かしこまりました。本日でしようか。 A1：はい。6時半から、6人なんです。 B1：恐れ入ります。本日、夕方ですと御予約は満席でして、カウン ター一席だけになっちゃうんですが。 A1：そうですか。じゃあ、また…。 B1：申し訳ありません。また、今度お待ちしております。 A1：はい。失礼します。 B1：毎度、ありがとうございます。 B2：〇〇寿司でございます。 A2：あ、予約、お願いしたいんですけど。 B2：かしこまりました。本日でしようか。 A2：いえ。明日なんです。 B2：明日の夕方ですか。 A2：夕方の6時半から、6人。 B2：かしこまりました。6時半から、6名さま。お取りできます。 A2：ああ、そう。 B2：当店は全席禁煙とさせていただきますので、おたばこは店内 の喫煙コーナーでお願いしておりますが、よろしいでしょうか。 A2：ああ、はい。その方がいいですね。 B2：では、お客さま。お名前、どちらまでお取りいたしますし ょうか。 A2：あ、△△でございます。 B2：かしこまりました。△△さまで、明日××日18時30分、6名さま ということで、承りました。ありがとうございます。特に、お料理は。 A2：それは、行ったときでお願いします。 B2：はっ。かしこまりました。 A2：はい。じゃ、よろしく。 B2：お待ちしております。毎度、ありがとうございます。	名詞+でございます(丁寧語) 動詞マス形+形容詞 たい 接続助詞 けど けれども(言いさし) 応答詞 かしこまりました(謙譲語Ⅱ) 名詞+でしょうか(質問) 助数詞 人 複合接続助詞 なんです(問いかけ) 接頭辞 御 動詞マス形+ちゃう/てしまう(完了相、遺憾 のムード形式) 動詞/形容詞辞書形+んです(説明) 会話中断の挨拶 じゃあ、また 動詞予形+おります(動作の継続：謙譲語 Ⅰ)	単独行為要求(勧告) 単独行為要求(依頼) 注目表示(同意) 情報要求 情報提示 儀礼(陳謝) 情報提示 談話表示 儀礼(陳謝) 意志表示 儀礼(挨拶)	近く いい お正 教える ください あー それなら いいです よ ～寿司(業種を示す店名 の稿本部分) 予約 お願いする たい 本日 はい 6時半 6時30分 18時30分 から 6人 6名 さま 恐れ入ります 夕方 と 予約 満席 で カウンター一 席 だけ に なる そうですか じゃあまた 申し訳ありません また 今度 待つ 失礼します (毎度、)ありがとうございます いえ 明日 取る 注目表示(同意) 注目表示(否定) 情報提示 情報要求 注目表示(承認) 情報提示 談話表示 同意要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(確認)	○	○			
0802060	★店員と話す	状況に応じて店員と話す内容を理解する 店員との応答ができる	飲食店 店員	来店時から店を離れるまで のあらゆる状況	B1：いらっしゃいませ。 A1：あ、予約していました〇〇ですけど。 B1：毎度ありがとうございます。〇〇さま。6時30分から、6名さ まで承っております。 A1：はい。	動詞テ形+いる(結果の存続) 接続助詞 けど(言いさし) 承る(謙譲語Ⅰ) 格助詞 から(基点) 動詞テ形+おります(謙譲語Ⅰ) 助数詞 名様 尊敬語 接尾辞 様 尊敬語	儀礼(挨拶) 情報提示 儀礼(感謝) 注目表示(確認)	いらっしゃいませ 〇〇(名前) です あ 予約する 毎度ありがとうございます さま 6時30分 6名 はい	○	○			

08 物品購入・サービスを利用する		能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい 言葉	四技能				
			場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く	
0802080	★ 店で人数や禁煙喫煙などの希望を伝える	希望の内容と店による許諾可能性を理解する 希望の内容を適切に伝えることができる 希望の内容についての可否説明が理解できる	飲食店	店員	来店する	A1: 後から二人来て、みんなで6人です。禁煙席をお願いします。 B1: 当店は全席禁煙とさせていただいております。おたばこは店内の喫煙コーナーでお願いしておりますが、よろしいでしょうか。 A1: はい。分かりました。	動詞テ形 格助詞 で 接頭辞 当 (謙譲語Ⅱ)	情報提示 単独行為要求(依頼) 注目表示(確認) 注目表示(同意)	後 から 二人 来る みんな で 6人 です 禁煙席 で お願いす ます はい 当店 は 全席禁煙 と おたばこ 喫煙コーナ ー で 分かる た	○	○			
0802100	★ メニューを読む	メニューの種類を理解する メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)	飲食店		注文品を確認する	[メニューの表記例] メニュー/お品書き ランチ(昼食)メニュー/ディナー/本日(今週/料理長)のおすすめ お料理/お飲物(ドリンク)/コース(それぞれのコース名:例「おまかせコース」) 具体的な品名・番号・記号	美化語 お						○	
0802120	★ メニューを選んで注文する	メニューの種類を理解する メニューの情報を理解する (不明な点は店員等に質問できる)	飲食店	店員	注文品を選んで店員に伝える	B1: こちら生ビールでございます。それと、ウーロン茶ですね。 A1: そっちをお願いします。 B1: はい。お料理はお決まりましたでしょうか。 A1: ええと、このお任せコース4,000円で、一人、肉を食べないのがあるんですけど... B1: 鶏肉もだめでしょうか。 A1: はい。鶏肉もだめなんだよね。 B1: そうですか。一品だけ鶏つくねのお料理がございますので、何か別のものに替えさせていただきます。 A1: 悪いね。 B1: いえ、工夫させていただきます。	名詞+でございます(丁寧語) 終助詞 ね(確認) 美化語 お お+動詞マス形+になる(尊敬語) 動詞辞書形+んです(説明) 接頭辞 けど/けれども(言いさし) 動詞ナイ形+せ/させていただく(許可求め謙譲語Ⅰ)	情報提示 情報要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(同意) 注目表示(確認) 同意要求 儀礼(陳謝) 意志表示	こちら 生ビール で ござい ます それ と ウーロン 茶 です ね そっ ち に お願 いす る ま す はい お料 理 は た か ええ と こ の 任 せ る こ う す 4,000 円 で 一 人 肉 を 食 べ る な い の が い る 鶏 肉 も だ め だ よ ね そ う で す か 一 品 だ け 鶏 つ く ね の で 何 か 別 の に 変 え る 悪 い ね い え 工 夫	○	○			
0802140	★ 食券を買う	食券により購入するシステムを理解する 必要なものを選んで券売機を利用できる	飲食店	(券売機)	注文品を選ぶ	[券売機の表示](例: そばチェーン店 ※音声での案内等がある場合もある。) [メニューのカテゴリごとの分類] (※このカテゴリのそれぞれに具体的な品名が表示されている。) セット/そば・うどん/丼・ミニ丼/トッピング/麺大盛り [メニュー以外の表示]	(漢語)+できる(可能形)		省略		(○)	○		

O 8 物品購入・サービスを利用する	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい言葉	四技能						
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く			
					五千円札・一万円札は使用できません おつり・返却／よびだし／500、100、50、10／千円札／券取出口／おつり／売り切れ／品切れ										
0802170	★ 追加の注文をする	依頼表現を伝えることができる 依頼に応えることができる	レストラン	ウェイター	追加で注文する	A 1: すみません。生ビール、もう一杯お願いします。 B 1: はい。すぐお持ちします。	もう＋助数詞 お＋助詞マス形＋する（謙譲語1）	注目要求 単独行為要求（依頼） 注目表示（承認）	もう＋（助）数詞	○	○	○			
0802190	★ 支払いをする	支払いの意思を伝えることができる 支払いの方法を選ぶことができる	レストラン	ウェイター	代金を支払う	A 1: すみません。（お）会計をお願いします。 B 1: お会計はお帰りにレジでお願いいたします。 A 1: では、これでおつりをください。 A 2: すみません。（お）会計をお願いします。 B 2: こちらにお持ちしますので、お待ちください。 A 2: では、これでおつりをください。 A 3: ごちそうさま。おいくらですか。／いくらになりますか。 B 3: ありがとうございます。御一緒によろしいですか。 A 3: 別々でお願いします。／一緒にお願いします。 A 4: ごちそうさま。お勘定をお願いします。 B 4: ありがとうございます。御一緒によろしいですか。 A 4: 別々でお願いします。／一緒にお願いします。	接頭辞 お（美化語） お＋助詞マス形＋ください（依頼）（尊敬語） 疑問詞 いくら（価格） 接頭辞 お（美化語） 接頭辞 御（尊敬語） 形容詞 よろしい（美化語） 名詞＋格助詞 で＋形容詞 いい	注目要求 単独行為要求（依頼） 注目表示 儀礼（挨拶） 情報要求 儀礼（感謝） 注目表示（確認） 単独行為要求（依頼）	会計 帰り レジ おつり	○	○				
0803	各種サービスを利用する														
0803010	★ 店ごとに受けられるサービスと代金を理解する														
0803040	★ 店舗を探す	知らない人を呼び止めることができる 情報収集のための表現ができる 提供された情報を理解できる	街角	通行人	立ち話をする	A 1: この辺に、セルフサービスのランドリーがありますか。 B 1: ああ、コイン・ランドリーですね。そのコンビニの裏にありますよ。 A 1: ありがとうございます。 A 2: この辺に、セルフサービスのランドリーがありますか。 B 2: さあ、分かりません。そのコンビニで聞いてくれませんか。 A 2: ありがとうございます。	格助詞 に（位置） 格助詞 が（叙述） 動詞 ある（存在） 終助詞 か（疑問） 終助詞 よ（主観） 動詞テ形＋くれませんか（依頼）	情報要求 注目表示（確認） 情報提示 注目表示（否定） 単独行為要求（依頼） 儀礼（感謝）	セルフサービス （コイン）ランドリー コンビニ 裏 さあ 分かる 分からない	○	○				
0803080	★ 利用方法を知る	情報提供を求めることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる	店頭	店員	施設を利用する	A 1: ここで履歴書用の写真が撮れますか。 B 1: はい、セルフサービスでどうぞ。 A 1: カードで払えますか。 B 1: いいえ、現金だけです。	指示詞 ここ（場所） 格助詞 で（場所） 接尾辞 用 動詞語幹＋える／られる（可能形） 格助詞 で（手段） 副助詞 だけ（限定）	情報要求 単独行為要求（勧告） 注目表示（否定）	ここ 履歴書 ～用 写真 撮る はい セルフサービス カード 払う いえ 現金 だけ	○	○	○			
0803100	★ コンビニエンスストアのサービス（ATM、ファックス、公共料金の支払い等）を利用する	情報提供を求めることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる 機器の表示（文字・記号）が理解できる 表示された指示に従って操作・対応できる 納付書等の記載事項が理解できる 納付書等の正確に記入することができる	店頭	店員	サービスについて尋ねる サービスを利用する	A 1: ATMはどこですか。 B 1: あちらです。 A 1: 使い方を教えてください。 A 2: 電気料金を払いたいのので、お願いします。 A 3: 電話料金はここで払い込めますか。 A 4: 電話料金はここでいいですか。 A 5: （記入事項について）ここには何を書くのですか。	取り立て動詞 は（提題） 指示詞 どこ（場所）（疑問） 終助詞 か（疑問） 指示詞 あちら（方向） 動詞マス形＋接尾辞 方（方法） 動詞マス形＋形容詞たい（願望） 接続助詞 ので（理由） 動詞語幹＋える／られる（可能形） 格助詞 で（場所） 疑問詞 何（種別） 動詞辞書形＋のです（説明）	情報要求 情報提示 単独行為要求（依頼）	ATM 銀行の機械 ファックス コピー 払う 払い込む 振り込む 電話料金 水道料金 電気料金	○	○	○	○		
0803110	★ クリーニング店、レンタルビデオ店、美容院、理容店を利用する	来店した自分の目的や希望を申し出ることができる 情報提供を求めることができる 追加情報を求めることができる 提供された情報を理解できる 申込書に必要な事項を記入することができる 代金の支払い等、金銭の授受ができる 店員と適切な挨拶を交わすことができる	店頭	店員	希望を伝え、必要なサービスを受ける	[クリーニング店] A 1: これをお願いします。 B 1: 会員証（カード）はありますか。 A 1: ありません。作ってください。 B 1: お急ぎですか。 A 1: はい、急ぎでお願いします。／いいえ、普通でいいです。 お勘定はいくらですか。／おいくらですか。 [レンタルビデオ店] B 2: いつまでですか。 A 2: 3泊でお願いします。／次の月曜日までお願いします。 A 2: お勘定はいくらですか。／おいくらですか。 [美容院・理容店] A 3: カットとシャンプーをお願いします。／パーマもかけてください。 B 3: どんなふうになりますか。 A 3: この写真のようにしてください。／今と同じでいいです。／短く（長く）してください。 B 3: ヘヤーリキッドは付けますか。／～はどうしましょう。	格助詞 を（対象） 取り立て動詞 は（提題） 動詞 ある（所有） 終助詞 か（疑問） 動詞マス形＋否定形ません 動詞テ形＋ください（依頼） 接頭辞お＋助詞マス形＋です（尊敬語） 指示詞 いくら（値段） 接頭辞お（美化語） 疑問詞 いつ（時） 助数詞 泊 格助詞 と（並列） 取り立て動詞 は（対照） 取り立て動詞 も（付加） 疑問詞 どんな（種類）	単独行為要求（依頼） 注目表示（確認） 注目表示（否定） 情報要求 注目表示（承認） 情報要求 単独行為要求（依頼） 単独行為要求（依頼） 情報要求	ドライ 水洗い （お）急ぎ 普通 会員証 カード お勘定 いくら いつ 3泊 月曜日 お願いする カット シャンプー パーマ （パーマ）をかける	○	○	○	△		

O8 物品購入・サービスを利用する				能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	こい 言葉	四技能			
					場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
								A3: お勘定はいくらですか。／おいくらですか。	疑問詞 どう(方法) 名詞十のように(比喩) 形容詞十形十する 名詞十格助詞 十で十形容詞 いい		今 と 同じ 短い 長い ヘアーリキッド				
0804	商品情報(素材、注意書き等)について理解する														
	0804020 ★ 商品に添えられた情報を的確に理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された商品情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる	店頭	店員	商品を選ぶ	[書かれた情報を読み取ることが中心] A1: 卵(小麦・ソバ)は入って使っていますか。 A2: 綿100%ですか。 A3: Sサイズはありませんか。	[文表現とともに、記号・数字の理解も不可欠]		消費期限 賞味期限 原材料 アレルギー S M L 木綿 アクリル		△	△	◎		
	0804040 ★ 新聞広告・折り込み広告を理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された商品情報を読み取ることができる	自宅 街頭 交通機関内		商品を探す 良い条件の買物を考える	[書かれた情報を読み取ることが中心]	[文表現とともに、記号・数字の理解も不可欠]		大安売り バーゲン 大特価 新発売 限定発売		△	△	◎		
0805	購入額を確認・計算する														
	0805040 ★ レシートを確認する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて提供された情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる	店頭	店員	情報を確認する 確認要求をする	A1: すみません、レシートをください。／領収書をください。 A2: 合計金額はどこですか。／おつりはどこですか。 A3: あのー、計算が違っていませんか。／これでいいですか。 A4: すみません、ちょっと確かめてください。	取り立て助詞 は(提題) 格助詞 を(対象) 疑問詞 どこ(場所) 副詞 あのー 動詞マス形十ませんか(確認) 名詞十格助詞 十で十形容詞 いい	注目要求 単独行為要求(依頼) 情報要求 注目要求 情報要求	レシート 領収書(証) 合計金額 おつり お返し 違う 正しい 確かめる		○	○	◎		
	0805050 ★ レシートを理解する	求める情報のありかを探し、たどり着くことができる 書いて示された情報を読み取ることができる 追加情報を求めることができる	店頭	店員	情報を確認する 確認要求をする	[書かれた情報を読み取ることが中心] A1: あのー、ここには何が書いてあるのですか。 B1: 消費税です。	疑問詞 なに(種別) 動詞テ形十ある(状態) 終助詞 か(疑問)	注目要求 情報提示	レシート 領収書(証) 合計金額 おつり		△	△	◎		
	0805080 ★ 代金を支払う	提示された代金や支払い方法の情報が理解できる 必要な問い返しができる 支払い方法などの希望を伝えることができる 示された支払い方法が理解できる 代金・釣銭のやりとりができる 買い物のお話を締めくくることができる	店頭	店員	支払い方法を決める 代金を支払う 釣銭を受け取る 買い物を終える	B1: ありがとうございます。〇〇円になります。 B2: △△円、お預かりします。××円のお返しになります。／××円のおつり/お返し。 B2: 現金でしょうか。／カードをお使いになりますか。 A2: カードをお願いします。／現金をお願いします。 A3: 割引きのクーポンは使えますか。／クーポンがありますけど。 B3: 申し訳ありません。あいにく取り扱っておりません。／お使いいただけません。	助数詞 円(価格) 格助詞 十になる(結果) 接頭辞 お十動詞マス形十します(謙譲語I) 接頭辞 お十動詞マス形十になる(尊敬語) 名詞十でしょうか(確認) 格助詞 十で(手段) 動詞語幹十える/られる(可能形)	儀礼(感謝) 注目表示(確認) 情報要求 単独行為要求(依頼) 注目表示(否定)	預かる おつり 釣り銭 お返し 現金 カード クーポン 割引 あいにく 取り扱う 扱う		○	○	○		
0806	カード等を利用する														
	0806030 ★ カードの利用の可否を確認する	カード利用の可否について質問することができる カード利用の可否についての情報を理解することができる	デパート 飲食店	店員	代金・料金を支払う 代金・料金を支払う	A1: すみません。クレジットカードは使えますか。 B1: はい、御利用いただけます。 A1: 分かりました。ありがとうございます。 A2: すみません。クレジットカードは使えますか。 B2: 申し訳ございません。当店では現金のみとなっております。 A2: 分かりました。ありがとうございます。	動詞語幹十える/られる(可能形) 接頭辞 御 取り立て助詞 のみ(選別) 動詞テ形十おります(謙譲語II) 終助詞 か(疑問)	注目要求 情報要求 注目表示(承認) 儀礼(感謝) 情報要求 注目表示(否定) 儀礼(陳謝) 儀礼(感謝)	すみません クレジットカード カード は 使う 御利用 いただく 申し訳ございません 現金 当店 ありがとうございます		○	○			

■小分類 31 「人と付き合う」

(凡例)

- ★: 基本的な生活基盤の形成に不可欠であり、かつ複雑なコミュニケーションを必要とせず、外国人が主体的に動くことが必要とされる「生活上の行為」の事例、又は安全にかかわる(緊急性がある)「生活上の行為」の事例のいずれかに該当すると考えられるものを示す。
- ☆: 「★」と同旨の事例のうち、「理解すること」が求められる「生活上の行為」の事例に該当すると考えられるものを示す。

※ あいさつについて

3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する

- あいさつと呼ばれる生活上の行為には、いくつかの種類とそれぞれの目的があることに留意する必要がある。大別すると、実質的な内容のある情報を伝えることが目的のあいさつと、実質的な内容の情報を伝えるのではなく、あいさつを交わす人同士の人間関係を良好に維持することが目的のあいさつに分かれる。前者には、例えば、引越しや店舗開業を知らせるあいさつ、冠婚葬祭の日時や場所を知らせて出席などを依頼するあいさつ、出産・入学・卒業・就職などを知らせたり祝ったりするあいさつなどがある。また後者には、日常生活の中の朝・昼・夜のあいさつ、道で人と出会ったり別れたりする時のあいさつ、食事を始める時や終える時のあいさつ、取り立てて伝える用件を含まない年賀状や暑中見舞い状のあいさつなどがある。
- 前者のあいさつは、印刷されたり手書きされたりした書き言葉によって相手に届く/送られる場合や、改まった儀式の場で文字通り改まった言語行動として行われる場合などが多い。そのあいさつの中で表現され伝えられるのは、招待、祝賀、弔問など、生活の中での重要な相手への働きかけである。これに対して、後者のあいさつは、たとえば「こんにちは」「さようなら」「じゃ、またね」など、その言葉自体によって伝わる実質的な情報内容は希薄なものであって、そうした言葉を相手にかけ、相手からもそれに対応する言葉を受けるといった言葉のやりとり自体が意味を持つ。そうしたやりとりによって、相手との良好な人間関係を開始したり継続したり収束させたりするのが目的のあいさつである。後者は、実質的な情報を伝えるとは言えないものであるだけに、それぞれの場面ではあいさつであるという言語習慣を意識的に理解したり習得しないと、実際のあいさつをする言語行動が定着しにくいと言える。日本語の学習や指導の留意点であるゆえんである。

3101040 ☆ あいさつの文化的相違を理解する

- 言語社会によってあいさつに文化的な相違があることはしばしば指摘され、日常的にも経験される。日本語の学習や指導においても留意すべきことである。あいさつの言語表現に関する文化的な相違として注意すべきこととがらとして、一つ一つのあいさつ言葉の表す意味の異同がある。特に、朝夕のあいさつ、日常の出会いや別れのあいさつなど、実質的な内容を伝えることを主眼とせず、あいさつ言葉を交わすこと自体で良好な人間関係を維持するという種類のあいさつ言葉には、もともとの意味を既に失いつけた化石化した言語表現がそれぞれの言語社会で用いられる場合が多い。こうしたあいさつ言葉の元々の意義は、改めてさかのぼると実に多様である。例えば「さようなら」「こんにちは」「おめでとう」などを意味する諸言語のあいさつ言葉を例にして考えると、このことが理解できるだろう。
- あいさつを、どのような場面で、どのような事柄について、どのような相手に向かってするのかということについても、言語社会による文化的な相違がある。例えば、日本語では、食事を始める時(いただきます)と終える時(ごちそうさま)や、家を出かける時(行ってきます/行ってらっしゃい)と帰った時(ただいま/おかえりなさい)には、定型化した言語表現と共にあいさつ言葉を発するという定型性が見られる。ある調査(国立国語研究所による)では、ドイツ語社会ではこれらの場面でのあいさつ言葉は非常に多様であって、あいさつ言葉を発すること自体の定型が日本語社会に比べて希薄だという差異が観察された。あるいは、例えばエレベーターに乗り合わせた見知らぬ人に会釈や微笑みを送ったり、短いあいさつ言葉を掛けたりするのは、多くの欧米社会で普通に観察されることであるのに比べて日本語社会ではむしろまれである。場所や相手との関係によるあいさつ習慣の差異だとと言える。
- あいさつの言語表現に伴う身振りや身体接触など非言語的な行動について文化的な差異が大きいことも留意すべきである。前(3101020)で触れたとおりである。これと同じように、言語表現に伴うこととがらであいさつの文化的差異として留意すべきことは少なくない。例えば、あいさつ言葉を発する際の声の大小(強弱)にも言語社会による異同が指摘される。東南アジア(タイやベトナムなど)では、レストランなどの店員が客に大声で呼びかけることは少ない一方で、日本でも「威勢の良さ」を演出するように客を迎え入れる店員の大声は、そうした言語社会から来た人に不快感や違和感を与えるものだという(国立国語研究所調査から)。

3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する

- あいさつに用いる言葉には、そのあいさつの用向きや場面に合った言語表現が用いられる。その言語表現について特に留意すべきは、それぞれのあいさつ場面ごとに多かれ少なかれ定型化した、決まり文句のように用いられる表現があるということである。言うまでもなく実質的な内容のある情報を伝えるあいさつには、その内容や用向きにふさわしい言葉が選ばれる。例えば、祝い事であれば「おめでとう(ございます)」「お慶び申し上げます」など、お礼であれば「ありがとうございます」お詫びであれば「申し訳ございません」「すみません」などである。一方、実質的な内容を伝えるというより、言葉を交わすことにより人間関係を良好に保つ目的のあいさつでも、朝は「おはようございます」、夕方や夜は「今晚は」、食事の始まりは「いただきます」、終わりは「ごちそうさま」などの定型表現が用いられる。このあいさつ言葉の定型性は、ほかの言語社会にも見られるが、日本語社会でも顕著であって学習や教育において特に留意すべきこととがらである。
- 同じような場面で用いるあいさつ言葉にも、相手との人間関係やその場の改まりの程度などによる多様性が見られる。例えば、お礼の言葉では「謹んで御礼申し上げます」「ありがとうございます」「ありがとう」「サンキュー」など、日常の別れのあいさつでは「それではこれで失礼いたします」「ごきげんよう」「さようなら」「さいなら」「それでは」「それじゃ」「じゃ」などのように多様である。すべての学習者が多様な表現に習熟することは不要であるとしても、TPOに沿ったあいさつ型の型があること自体には留意すべきだろう。
- あいさつに関して、もう一つ留意すべきは、言語表現に伴う身振り、身体接触、姿勢、表情などの非言語的行動である。そのうちでも、日本語社会のあいさつに重要な役割を果たすのは、「お辞儀」と呼ばれる上半身と頭部の前屈の身振り・姿勢である。これは、あいさつの種類や目的、込める気持ち(祝い・礼・わびなど)の深さなどに応じて、前屈の角度の浅さ・深さが変わり、それに添えられる上肢(腕や手)の位置、さらに表情などが変わる。この他に、西欧社会など他の言語社会でも見られる握手、抱擁、接吻などが、日本語社会では相対的には少なく、限られた場面や相手だけに用いられることにも留意する必要がある。

3 1 人と付き合う★	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	ごい 言葉	四技能							
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く				
3101	あいさつをする															
3101010	★ あいさつの種類と目的を理解する															
3101020	★ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する															
3101030	★ 時宜にあったあいさつを学んで実行する (年賀状や暑中見舞いのやりとりをする)	会社の上司や先生などに短い表現で年賀状を書くことができる	自宅	上司 先生	年末に自宅で年賀状を書く	1 新年あけましておめでとうございます 昨年中はいろいろお世話になり、ありがとうございました。 今年もどうぞ よろしくお願いたします。 2009年元旦 グエン・パン・タン	時の名詞+中(期間) 取り立て助詞 は 動詞マス形で終わる節(理由) 取り立て助詞 も(付加) 接頭辞 お(美化語) 動詞いたす(「する」の謙譲形=謙譲語Ⅱ)	儀礼(挨拶) 儀礼(感謝) 単独行為要求(依頼)	新年 あけましておめでと うございます 昨年 ～中 いろいろ 世話 お世話になる ありがとうございました 今年 どうぞ よろしく お願いたします いたす 年 年賀状					○		
		送られてきた賀状に簡単な表現で礼状を書くことができる	自宅	部下 同僚 学生・生徒	新年に送られてきた賀状に対して返事を書く	2 新年あけましておめでとうございます お年賀状、ありがとうございました 今年もよろしくお願いたします 2009年1月5日 田中 英子	接頭辞 お(美化語) 取り立て助詞 も(付加) 動詞いたす(「する」の謙譲形=謙譲語Ⅱ) 接頭辞お+動詞マス形+いたす(謙譲語Ⅱ)	儀礼(挨拶) 儀礼(感謝) 単独行為要求(依頼)	年 月 日 年賀状						○	○
		夏の暑い時期に簡単な表現を使用し、書状を書くことができる	自宅	先輩 先生	立秋前の暑い夏に暑中見舞いの書状を書く	3 暑中お見舞い申し上げます 暑さ厳しき折 お体ご自愛ください	動詞申し上げる(「言う」の謙譲形=謙譲語Ⅱ) 形容詞語幹+さ+名詞 形容詞語尾 き(古語 名詞修飾) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください(尊敬語)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)	暑中 見舞い 申し上げる 暑さ 厳しい 折 体 自愛する							
	(年末年始のやりとりをする)	年末の簡単なあいさつを言うことができる	近所	近隣の知り合い	年末に隣の人に道で会う	B1: あしたから北海道へ旅行に行きます。マリアさん、どうぞよいお年を。 A1: どうぞよいお年を。	動詞マス形+格助詞 に(目的)+動詞 行 く どうぞ+名詞+格助詞 を(願望) 接頭辞 お+名詞(美化語)	意志表示 儀礼(挨拶)	あした から 北海道 旅行 行く どうぞ よい 年 どうぞよいお年 を あけましておめでと うございます ことし こちら どうぞよろしくお願 いたします	○	○					
		新年の簡単なあいさつをすることができる	会社 近所	近隣の知り合い 会社の人	新年に会社や近所であいさつをする	B2: あけましておめでとうございます。ことしもどうぞよろしくお願 いたします。 A2: あけましておめでとうございます。こちらこそ、どうぞよろしく お願いたします。	取り立て助詞 も(付加) 取り立て助詞こそ(卓立)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)		○	○					
	(結婚のお祝い)	簡単な表現で結婚のお祝いの言葉を言うことができる	会社 結婚式場	同僚 先輩	結婚する同僚へお祝いを手渡す	【職場で結婚する人へお祝いを言う】 A3: ご結婚おめでとうございます。これ結婚のお祝いです。 B3: どうもありがとうございます。	接頭辞 御+名詞(尊敬語) 接頭辞 お+名詞(美化語)(美化語)	儀礼(祝福) 儀礼(感謝)	結婚 おめでと うござ います お祝 い	○	○					
		お祝いの気持ちを表すことができる	結婚式場	同僚 先輩	会社の同僚の結婚式に招待され、式が終わって退出する	【結婚式場で帰りのあいさつをする】 A4: 本日はおめでとうございます。とてもいい結婚式でした。 B4: 今日は来ていただいて本当にありがとう。 A4: どうぞお幸せに。	取り立て助詞 は(提題) 動詞マス形で終わる節(理由) 動詞マス形+動詞いただく(「もらう」の尊敬形)(謙譲語Ⅰ)	関係づくり(ほめ) 儀礼(感謝) 関係づくり(願望)	本日 とても いい 式 今日 来る いただく 本当に ありがとう 幸せ どうぞお 幸せに	○	○					
	(葬式に参列する)	短い表現で葬式のあいさつを言うことができる	葬式	葬式の受付	友人の葬式に行く	A5: このたびはどうぞ(ごしゅうしゅうさまです)。 B5: おそれります。こちらにお名前とご住所をお書きください。 【東京都港区虎ノ門 3-25-2】	取り立て助詞 は(提題) 接頭辞 お+名詞(尊敬語) 接頭辞 御+名詞(尊敬語) 接頭辞 御+漢語動詞語幹+ください(尊敬語)	儀礼(挨拶) 単独行為要求(依頼)	この た び ど う も ご し ゅう し ゅう さ ま で す お そ れ い り ま す こ ち ら な ま 前 住 所	○	○					
	(見舞いに行く)	病院の受付で簡単な表現で用件を告げることができる	病院	病院の受付	病院へ見舞いに行く	A6: すみません、510号室の林さんのお見舞いに来ました。 B6: それではここにお名前をお書きください。	動詞マス形+格助詞 に(目的)+動詞 来 る 格助詞 の(同格)	注目要求 単独行為要求(依頼)	すみ ま せ ん 510	○	○					

3 1 人と付き合う★	能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	ごい 語彙	四技能				
		場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く	
	入院した人の居場所を尋ねることができる 簡単な表現で見舞いの気持ちを言うことができる 退出することを伝えることができる	病院 病室	看護師 入院患者	居場所を確認する 入院しているおばあさんと話す お花をわたす いとまごいをする	(氏名と時間を書く。) A 7: すみません、林さんはここですね。 B 7: ええ、そうですよ。一番奥の窓側のベッドが林さんです。 林さん、お客様ですよ。 A 7: おばあさん、いかがですか。 C 7: まあ、トーさん、悪いね。こんな所まで来てもらって。 きれいなお花。 A 7: そろそろ失礼します。おばあさん、どうぞお大事に。	接頭辞 語) お+動詞マス形+ください(尊敬) 格助詞 に(場所) 終助詞 ね(確認) 終助詞 よ(主張) 格助詞 の(名詞修飾) 接頭辞 お+名詞+接尾辞 様 終助詞 か(質問) 疑問詞 いかが(疑問詞「どう」の尊敬形) 動詞テ形+もらう 縮約形+ムード形式 ちゃう(=てしまう) 指示詞 こんな 格助詞 まで(到達点)	注目要求 同意要求 注目表示(同意) 情報提示 儀礼(挨拶) 情報要求 注目表示(確認) 関係づくり(感謝) 注目表示(感想) 儀礼(挨拶) 関係づくり(願望)	号室(号、室) 林 ～さん 見舞い それでは ここ 名前 書く すみません ええ そう 一番 奥 窓 側 ベッド 客 お客様 おばあさん いかが まあ 悪い 悪いね こんな 所 来る きれいな 花 そろそろ 失礼する お大事に	○	○			
	(引越しの挨拶) 引越し先で簡単なあいさつをすることができる	近所 近所	隣の人 隣の人	近所の人に引越しすることを告げる 隣の人に引越してきたことを告げる	【引越しのあいさつをする】 A 8: あした、川崎へ引越します。いろいろお世話になりました。 B 8: まあ、そうですか。どうぞ、お元気で。 A 8: はい、ありがとうございます。 A 9: ごめんください。隣に引越してきた木村です。どうぞよろしく お願いします。 B 9: 鈴木です。こちらこそ、どうぞよろしく。 A 9: これどうぞ。 B 9: まあ、どうもすみません。	格助詞 へ(方向) 間投詞 まあ 動詞テ形+動詞 来る(接近) 節+名詞(名詞修飾) 取り立て動詞 こそ(卓立)	儀礼(感謝) 注目表示(確認) 関係づくり(願望) 注目要求 情報提示 儀礼(挨拶) 単独行為要求(受領) 儀礼(感謝)	引越す 川崎 あした いろいろ 世話 お世話になりました また また どうぞ お元気で(元氣) ありがとうございます	○	○			
3101040	☆ あいさつの文化的相違を理解する												
3101060	★ 相手に合わせたあいさつをする	相手に応じたあいさつをすることができる	道家 会社 公共の場	知り合い 友人 上司 同僚 部下 初対面の人	道で人と会う 会社で人と会う 公民館などの公共の場で人と会う 訪問する A 1: おはようございます。毎日暑いですね。 B 1: そうだね、本当に暑いね。 A 1: この間は、ごちそう様でした。 B 1: いえ、こちらこそ、お土産をありがとうございました。	終助詞 ねえ(同意要求) 格助詞 を(対象)	儀礼(挨拶) 注目表示(確認) 儀礼(感謝)	おはようございます この間 ごちそう様でした こちらこそ	○	○			
3101080	★ 日常のあいさつをする	あいさつの種類を選択することができる あいさつの相手による表現の違いを選択することができる 自分から挨拶するべき状況が判断できる あいさつに伴う非言語行動ができる 相手の挨拶に応じることができる	職場 職場 職場	上司 同僚 上司	出勤する 出勤時に応答する 退出する A 1: 課長さん、おはようございます。 B 1: やあ、〇〇さん、おはよう。 B 2: 〇〇さん、おはようございます。 A 2: おはようございます。 B 2: 今日はいい天気ですね。 A 2: そうですね。 A 3: 今日はこれで失礼します。 B 3: お疲れ様でした。	職位+さん(上司) 姓+さん(同僚、部下) 間投詞 やあ 取り立て動詞 は(提題) 終助詞 ね(確認) 取り立て動詞 は(提題)	注目要求 儀礼(挨拶) 注目表示(承認) 注目要求 儀礼(挨拶) 同意要求 注目表示(同意) 儀礼(挨拶)	課長 さん おはようございます おはよう やあ 今日 いい 天気 です これで 失礼する お疲れ様	○	○			

3 1 人と付き合う★				能力記述	場面			やりとりの例	文法	機能	ごい 語彙	四技能			
					場所	相手	状況					話す	聞く	読む	書く
	3101130	★	人間関係のきっかけを作るあいさつをする	今後付き合いをする相手を選べる 初対面の挨拶ができる	不特定の場所	初対面の相手	今後付き合いたい相手と出会う	A 1 : はじめまして。(名前)と言います。(国名)から来ました。 B 1 : ああ。(国名)ですか。(名前)さん? A 1 : はい。(名前)です。よろしくお願いします。 B 1 : こちらこそ、よろしくお願いします。わたしは。(名前)です。	格助詞 から(出発点) 動詞タ形(完了) 終助詞 か(疑問) 質問の音調 ～? 取り立て助詞こそ(卓立) 取り立て助詞は(提題)	儀礼(挨拶) 情報提示 注目表示(確認) 情報要求 単独行為要求(依頼)	はじめまして(慣用表現) 名前(A) と 言う ます 国名 から 来る た ああ です か さん はい よろしくお願ひします (慣用句) こちらこそ(慣用表現) わたし は 名前(B)	○	○		